

# Professional Fidelity

Mastering Grade Listening



## Performer s800 – 日本語マニュアル

Stereo Power Amplifier

このマニュアルはAcrobat Reader  
に最適化されています。  
インタラクティブボタンは他のア  
プリケーションでは表示されませ  
ん。

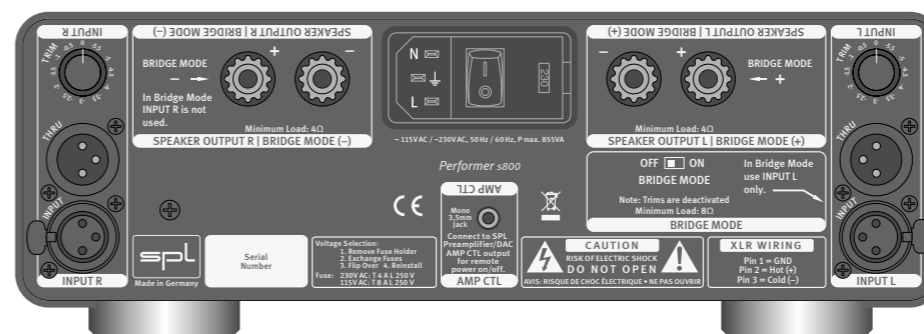


# ようこそ

Performer s800を選んで頂きまして、誠にありがとうございます。

Performer s800は2チャンネル4オームのスピーカーに最大285Wもの出力を可能とする、とてもコンパクトなステレオパワーアンプです。ブリッジモードでは8オームのスピーカーに最大450Wの出力を可能とします。

VOLTAiRテクノロジーは、SPL 120Vと呼ばれ、Professional Fidelityシリーズにもその技術が用いられています。それ故Performer s800では、広大なダイナミックレンジと、非常に美しい透明感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。



# コンテンツ





さあ、始めよう	4
フロントビュー	5
リアビュー (Stereo Mode)	6
リアビュー (Bridge Mode)	7
VOLTAiR – 120V Rail テクノロジー	8
比較	9
Inputs	11
Slave Thru	12
Trim	12
Bridge Mode	12
Speaker outputs	13
Bridge Mode	14
回路保護	15
DC Protection	15
Overheating protection circuit	15
AMP CTL (Amplifier Control)	16

Specifications	17
Line Inputs & Line Outputs	17
Speaker outputs	17
Output power	17
Output voltage	18
Output impedance	18
Damping factor	18
Frequency response	18
Signal-to-noise ratio	19
Gain	19
Total harmonic distortion	19
Internal Voltage	20
Power supply	20
Dimensions (incl. feet)	20
Weight	20
Important Notes	21
Declaration of CE Conformity	21

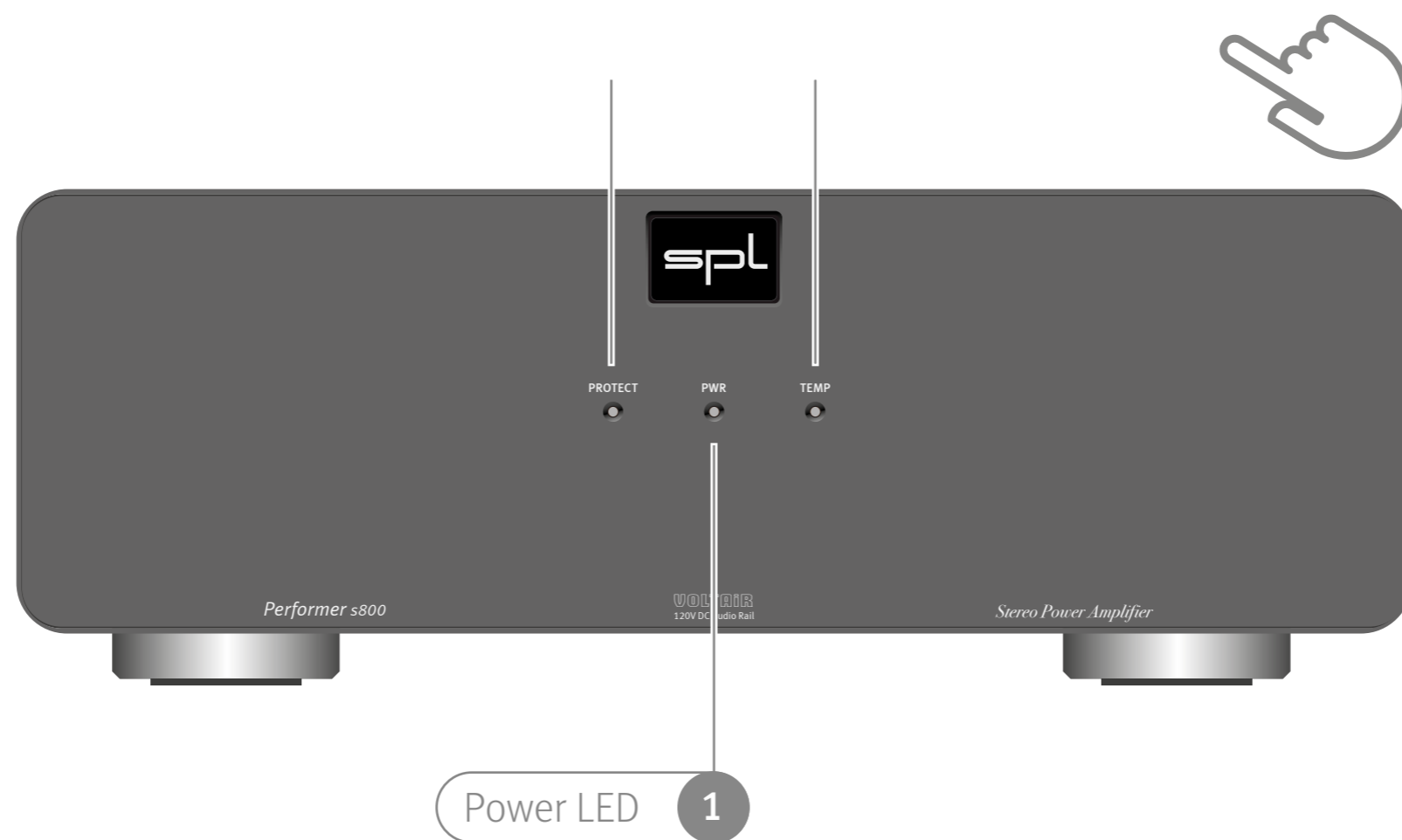


# Getting started

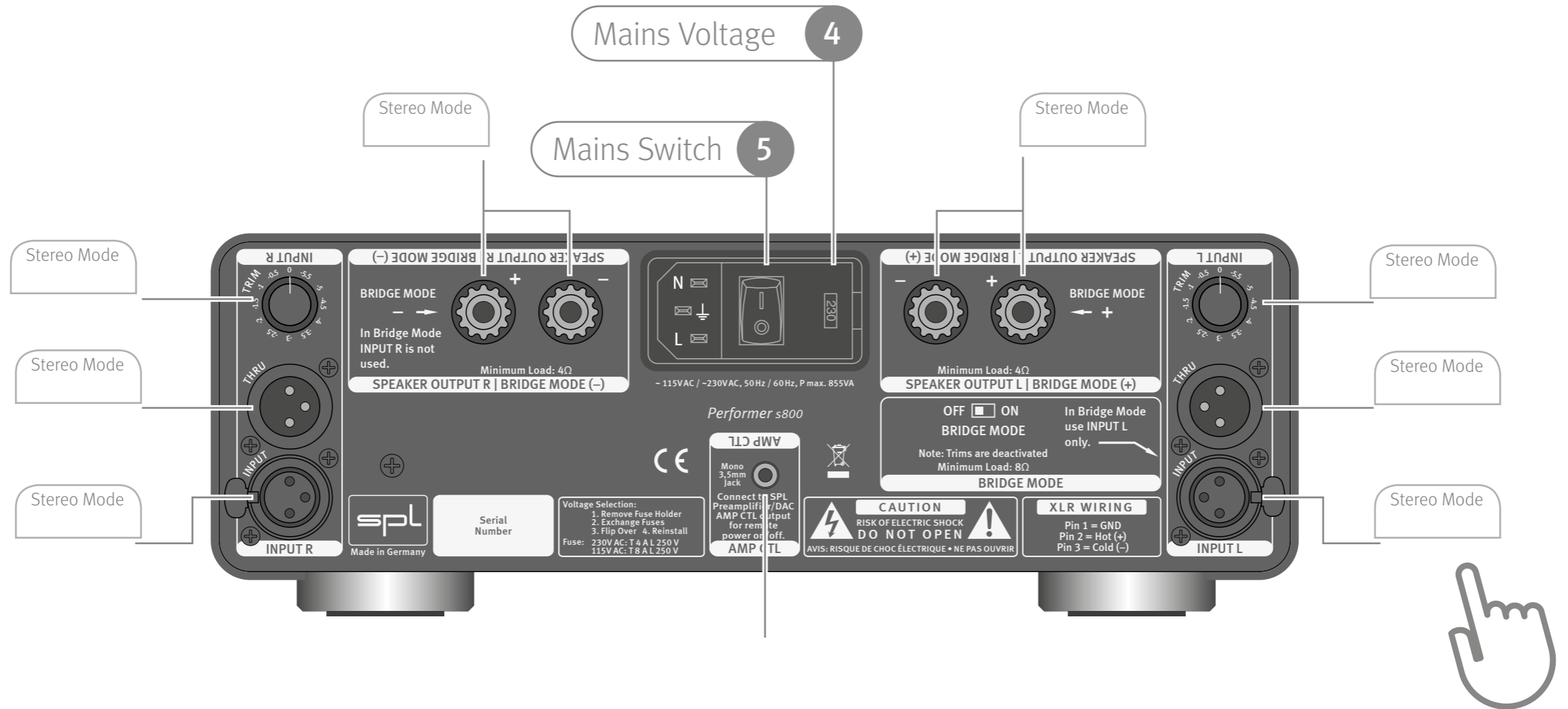
以下の各コンテンツをお読み頂くことで、Performer s800の全体像を素早くご理解頂くことが可能です。

- ここに表記の  -ボタンを押して頂くと目次へとジャンプします。
- ここに表記の  -ボタンを押して頂くとフロントビューへジャンプします。
- ここに表記の  -ボタンを押して頂くとリアビューへジャンプします。
- ここに表記の  -ボタンを押して頂くと一つ前にご覧のページへジャンプします。

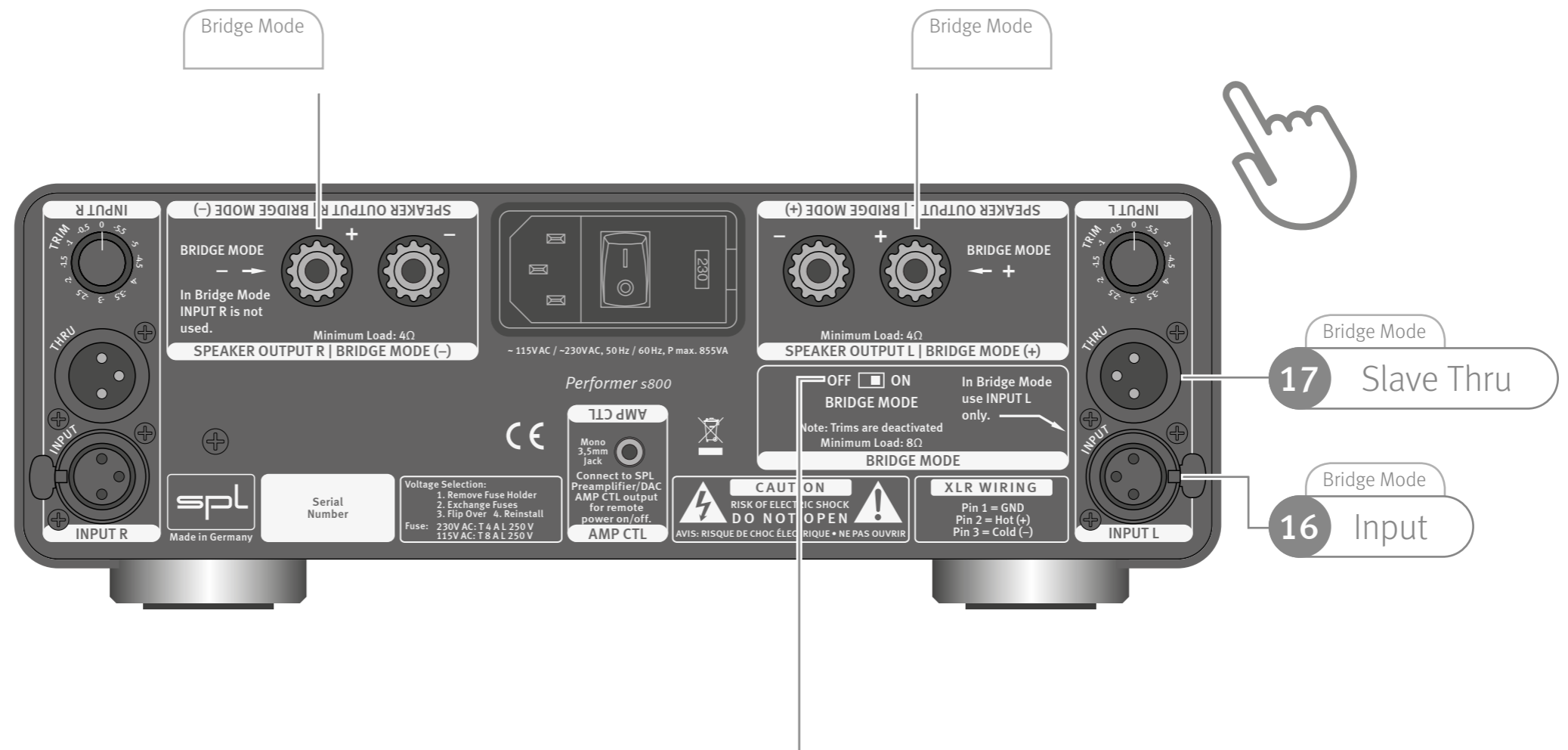
# フロントビュー



# リアビュー (Stereo Mode)



# リアビュー (Bridge Mode)



# VOLTAiR – 120V Rail テクノロジー

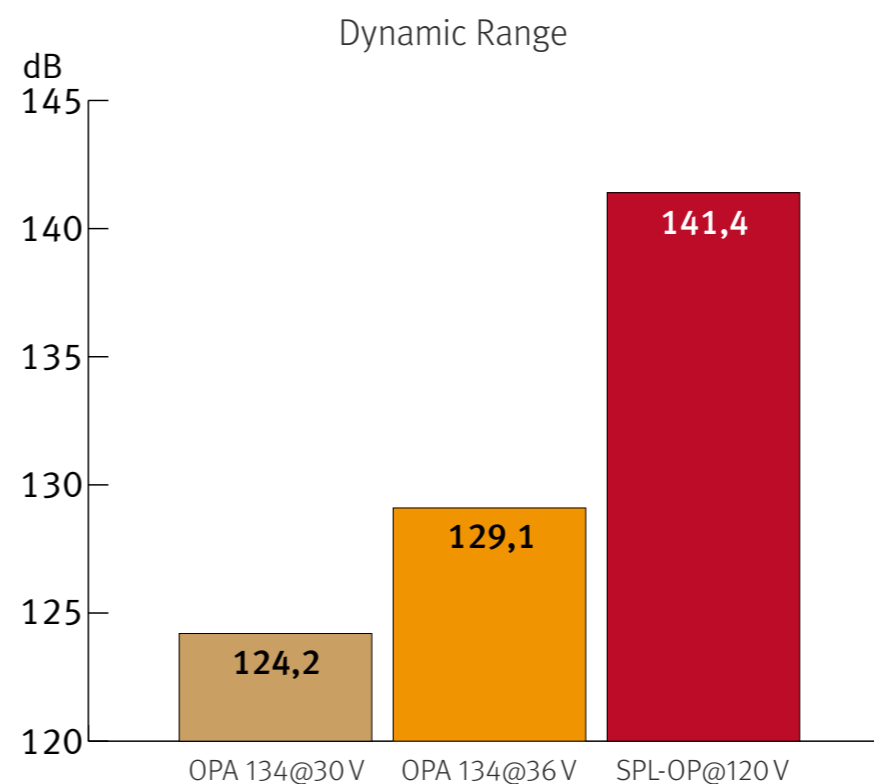
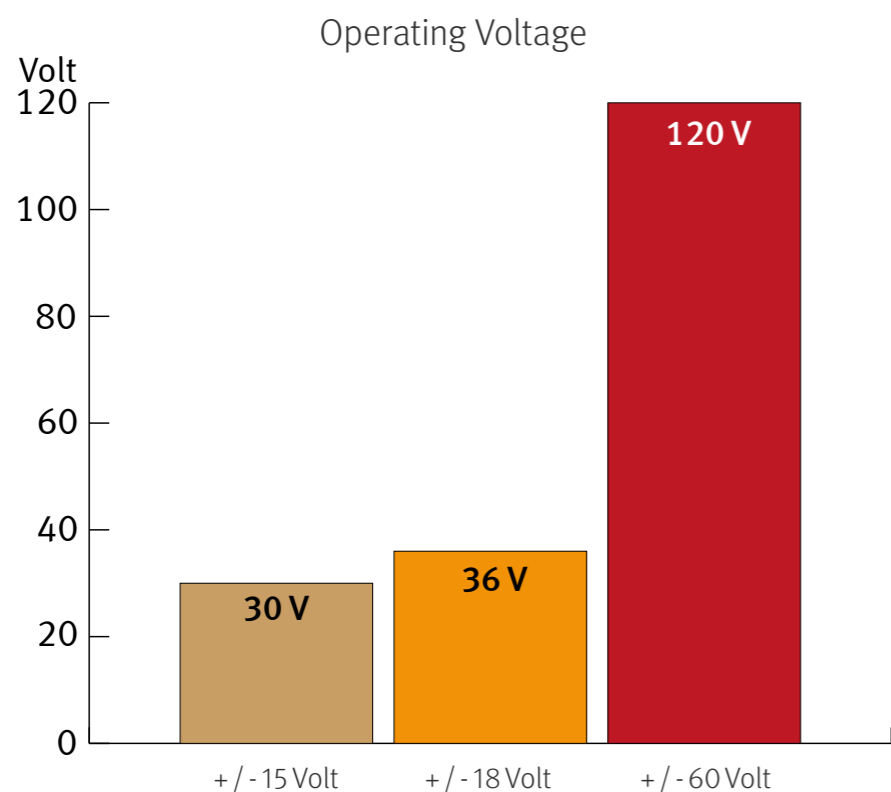
VOLTAiRは、Professional Fidelityシリーズにおける120Vレイルテクノロジーの同義語です。120Vレイルテクノロジーにおいて、オーディオ信号は比類なき $\pm 60V$  DCで処理されます。これはディスクリートアンプの2倍、半導体オペアンプの4倍に相当します。

120Vレイルテクノロジーは、卓越した技術及び音響性能を発揮し、巨大なダイナミックレンジとヘッドルームの観点から最高のディテイルを生み出すことで、余裕ある音楽再生を可能とし、これまでにない音楽体験を得られます。



# 比較

ここに示す表は、120Vレイルテクノロジーと一般的なオーディオ機器における比較です。動作レベルと最大レベルの直接的な関係は、分類・比較する上での基本的な考え方です。動作レベルが高いほど、回路が処理できる最大レベルも高くなります。また、実質的にすべての重要な音響および音楽パラメータがこの関係に依存するため、動作電圧が高くなると、ダイナミックレンジ、歪み制限、および信号対雑音比にもプラスの影響が発生することになります。

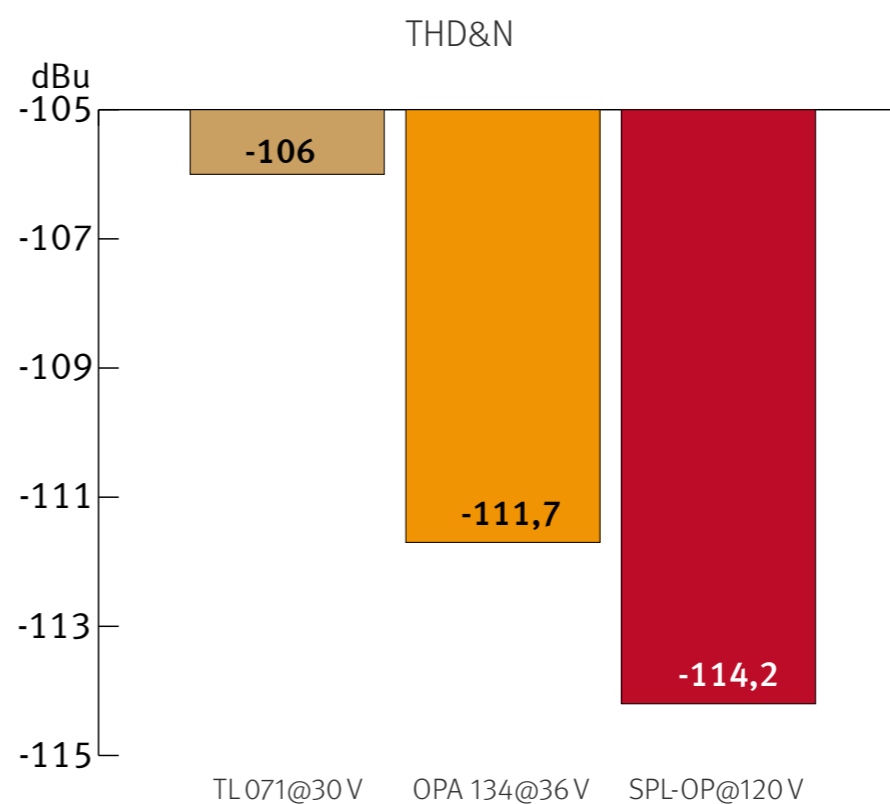
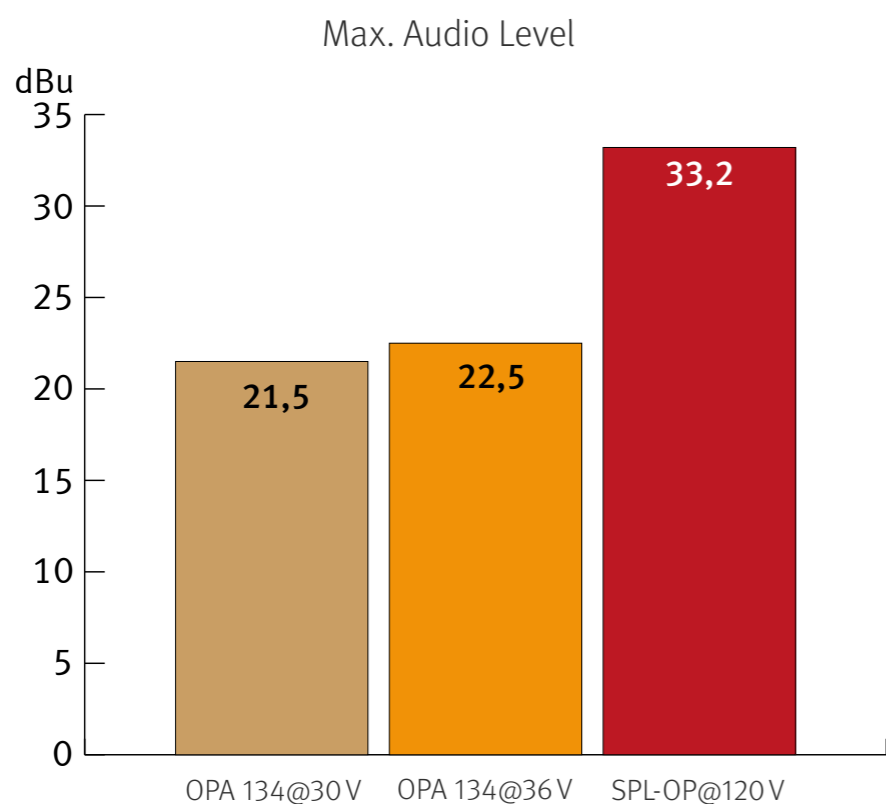


dBスケールは線形ではなく、指数関数的な増加を表しています。3dBの増加は音響的なパワーの倍増に対応し、+8dBは音圧レベルの2倍に対応します。更には+10dBは知覚されるラウドネスの2倍に対応しています。

音量に関して、120Vテクノロジーは、最大レベルとダイナミックレンジに関して、その値が約10dB高いことを考えると、一般的なコンポーネントや回路の2倍のパフォーマンスを発揮します。

THD測定では、内部電圧30VでのTL071と比較して8dB以上の差があります。

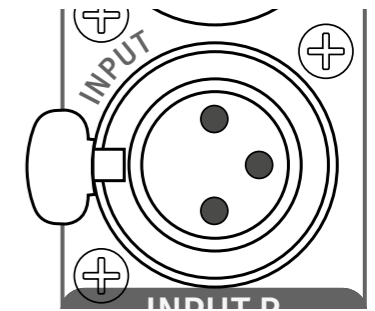
これは、音圧レベルに関して、130%以上の改善に相当します。オーディオ機器に最も一般的に使用される動作レベルは+/- 15ボルトです。



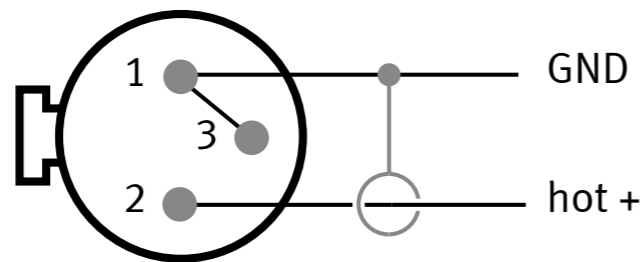
# Inputs

Performer s800はプリアンプと接続するXLRバランス接続端子を備えています。最大2x285W(4ohm)もしくは2x185W(8ohm)の出力は+6dBの入力に対して実現されます。

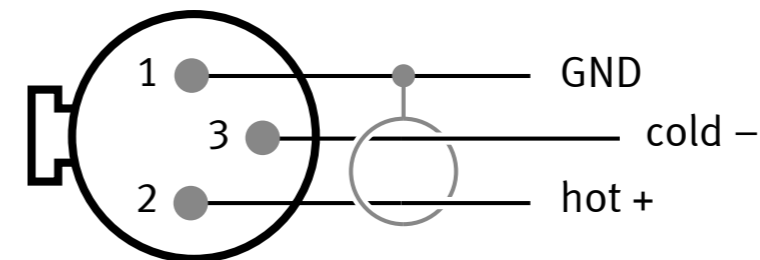
アンバランス接続については、下図をご覧ください。



unbalanced

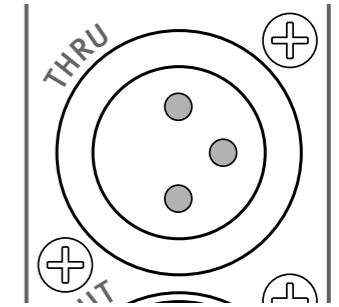


balanced



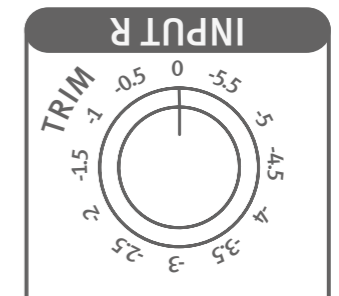
## Slave Thru

入力信号をそのまま外部機器にスルーアウトすることが可能です。



## Trim

トリムスイッチを使用し、0.5dB単位にて入力レベルを調整することが可能です。これはスピーカー間の音量差を調整するための一つの解決法となることでしょう。



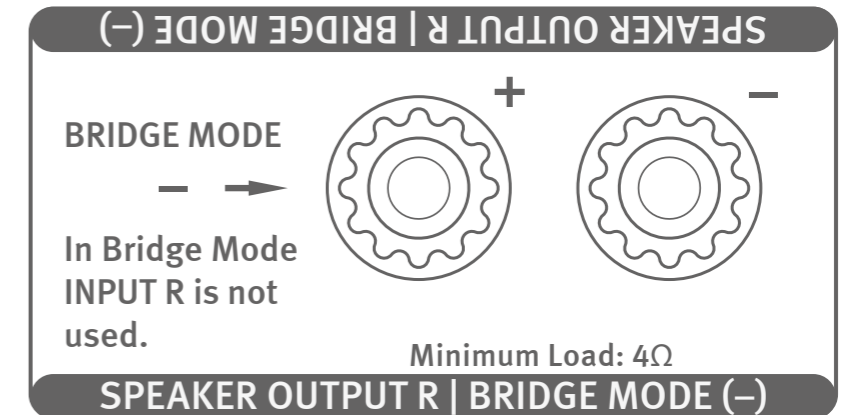
## Bridge Mode

ブリッジモードでは左チャンネル入力のみ使用され、右チャンネルの入力およびトリムスイッチは無効化されます。

# Speaker outputs

4もしくは8オームのスピーカーを接続することができます。ブリッジモードでは8オームのスピーカーを接続することができます。接続には4mmのケーブルホールもしくはバナナプラグを使用します。

スピーカー出力の位相が混ざらないようご注意ください。



# Bridge Mode

Performer s800はブリッジモードにて8オーム450W RMSの出力を可能とします、左チャンネルのみ使用して下さい。

- ブリッジモードをONにします。

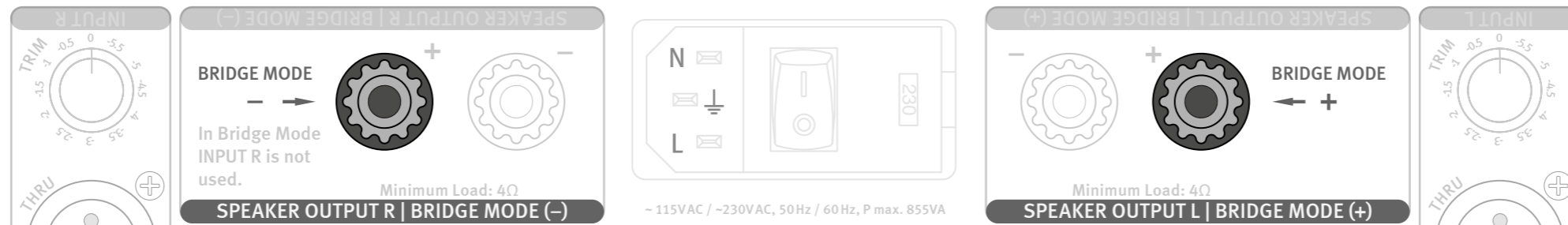


警告：モードを変更する際には必ず本体の電源を落として下さい。

OFF  ON  
BRIDGE MODE

ブリッジモードでは最低8オーム以上のスピーカーに接続してください。

左チャンネルの+端子をスピーカーのポジティブ端子に、右チャンネルの+端子をスピーカーのネガティブ端子に接続して下さい。



ブリッジモードでは右チャンネルの入力およびトリムは無効となります。

# 回路保護

Performer s800は出力回路におけるDC漏れと過熱を防ぐために保護回路を備えています。

## DC Protection

DCが認識された場合、Performer s800は自動的に電源が落ちるようになっています。

自動シャットダウンとなった場合には、手動でなければ再起動はされません。再起動をさせる場合には、1分ほど経過した後に電源スイッチを入れなおして下さい。

万一何度も問題が発生する場合は、代理店へご連絡下さい。

## Overheating protection circuit

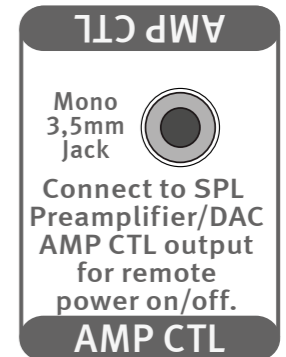
ヒートシンクの温度が70℃を超えた場合、Performer s800の電源は自動的にシャットダウンされます。55℃まで温度が下がった後、自動的に再起動されます。

# AMP CTL (Amplifier Control)

Performer s800をSPL Phonitor xやDirector Mk2などの機器と接続することで、スタンバイ切替の連動を設定することが可能です。AMP CTL端子は3.5mmモノラルケーブルを接続して下さい。



警告：AMP CTL端子には他の機器を接続しないで下さい。





# Specifications

## Line Inputs & Line Outputs

- Neutrik XLR, balanced, Pin 2 = (+)
- Input impedance: 10 kohms
- Input trimming: 0 dB to -5.5 dB in 0.5 dB steps
- Input sensitivity: +6 dBu
- Output impedance (Slave Thru) is defined by the connected device
- Crosstalk: -110 dB (@1 kHz)

## Speaker outputs

- 2 pairs binding posts with  $\varnothing$ 4 mm cable hole (screwable) and banana plug; fully encapsulated

## Output power

- 2x 285 W RMS into 4 Ohm
- 2x 185 W RMS into 8 Ohm
- 1x 450 W RMS into at least 8 Ohm in bridge mode

## Output voltage

- 74 V Peak-to-Peak (stereo)
- 180 V Peak-to-Peak (bridge)
- 35 V RMS (stereo)
- 86 V RMS (bridge)

## Output impedance

- $< 0.031$ , 20 Hz to 20 kHz (stereo)
- $< 0.043$ , 20 Hz to 20 kHz (bridge)

## Damping factor

- $> 300$ , 20 Hz to 20 kHz, at 8 ohms (stereo)
- $> 190$ , 20 Hz to 20 kHz, at 8 ohms (bridge)

## Frequency response

- 9 Hz to 100 kHz +0,  $-0.03$  dB
- $< 9$  Hz to 200 kHz +0,  $-3$  dB

## Signal-to-noise ratio

- > 118 dB (wide-band, unweighted, referred to full power output)
- > 123 dB (A-weighted)

## Gain

- 26 dB (stereo)
- 32 dB (bridge)

## Total harmonic distortion

- < 0,03% at 1 kHz, at 185 W, 8 ohms
- < 0,19% at 20 kHz, at 185 W, 8 ohms
- < 0,011% at 1 kHz, at 450 W, 8 ohms
- < 0,12% at 20 kHz at 450 W, 8 ohms

## Internal Voltage

- +/- 60 V

## Power supply

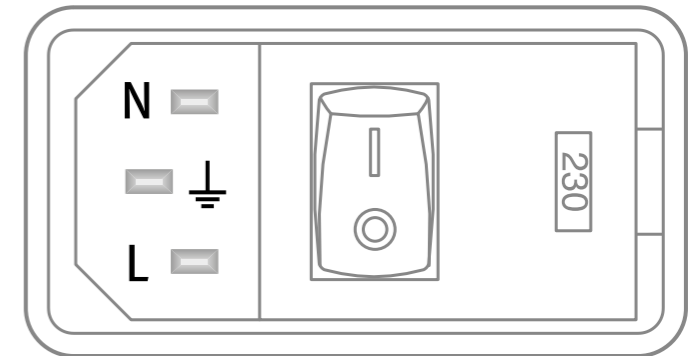
- Mains voltage: 230 V AC / 50 Hz; 115 V AC / 60 Hz
- Fuses: 230 V: T 4 A; 115 V: T 8 A
- Power consumption: max 900 VA
- Idle power consumption: 40W
- Standby power consumption: 0.3 W

## Dimensions (incl. feet)

- (WxHxD) 10.94 x 3.94 x 13 in (278 x 100 x 330 mm)

## Weight

- 28.22 lbs (12.8 kg), unit only
- 30.87 lbs (14.0 kg), shipping



# Important Notes


Version 1.1 – 08 /2016

Developer: Bastian Neu

This manual includes a description of the product but no guarantee as for specific characteristics or successful results. Unless stated otherwise, everything herein corresponds to the technical status at the time of delivery of the product by SPL electronics GmbH. The design and circuitry are under continuous development and improvement. Technical specifications are subject to change.

© 2016 SPL electronics GmbH. This document is the property of SPL and may not be copied or reproduced in any manner, in part or fully, without prior authorization by SPL. Sound Performance Lab (SPL) continuously strives to improve its products and reserves the right to modify the product described in this manual at any time without prior notice. SPL and the SPL Logo are registered trademarks of SPL electronics GmbH. All company names and product names in this manual are the trademarks or registered trademarks of their respective companies.

## Declaration of CE Conformity

 The construction of this unit is in compliance with the standards and regulations of the European Community.